

## GPS受信機によるアンテナ設置場所での受信状況の確認

GPSは複数の衛星で構成されており、それらは常に動いていますが、測位に必要な4つ以上の衛星が常に見えるように配置されており、日本ではどこにいても同じ強さの信号を受信できます。ただ、屋内でGPS信号を受信しようとすると話は違ってきます。

屋内に届くGPS衛星からの信号は、窓ガラスを透過して屋内に入ってきます。窓ガラスの素材が電波を透過しない、あるいは窓ガラスに熱線遮断のために貼ってあるフィルムが信号を遮断することがしばしばあります。ハンディーGPS受信機を使い、室内アンテナを設置しようとする場所にGPS衛星からの信号が届くかどうか確認できます。窓ガラスにアンテナを設置しようとする際は必ずこのテストを行ってください。また、ハンディーGPS受信機は屋上などに容易に持ち出すことができますから、設置場所のWGS-84座標とGPS標高を事前に知るのにも利用できます。

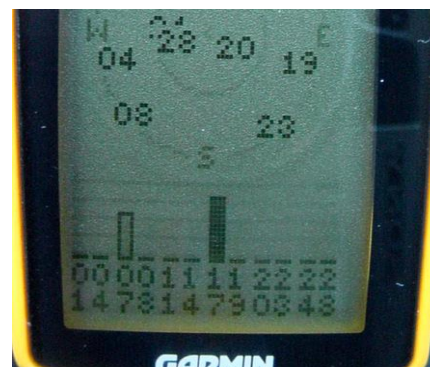
1. GPSレシーバーの電源を入れます。

2. しばらくするとWAIT…と表示



3. GPSアンテナを設置する窓に置き、30分ほど放置します。

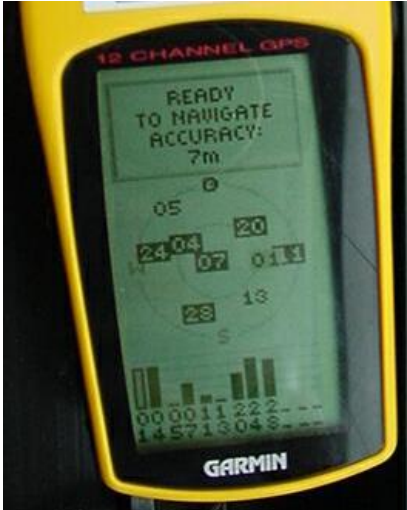
4. 信号レベルの黒い棒グラフが安定して1つ以上表示されればGPSアンテナをその窓に設置できると判断できます。



- ・上の写真のような黒く長い棒グラフが1つ以上安定して表示されましたか？  
表示された場合：窓ガラスにGPSアンテナを取り付けてタイムサーバーを運用できる可能性があります。→ 5.に進みます。  
しばらく見ても1つも表示されない場合：この窓ガラスはアンテナの設置に適していません。

5. この窓の内側で測位できることを確かめます。

4つ以上黒い棒グラフが表示されたときは、測位できる可能性があります。READYと表示されれば測位できたことを意味します。



・READYの画面は表示されましたか？

表示された場合：この窓の位置でも測位ができました。  
念のためWGS-84の座標と標高を書き取ります。

表示されない場合：この窓からはなかなか測位できません。  
屋上など、窓から100m以内であって空を広く見渡せる  
場所にハンディーGPS受信機を持ち出して測位を試み、  
測位できたらWGS-84の座標と標高を書き取ります。

=== 注意 ===

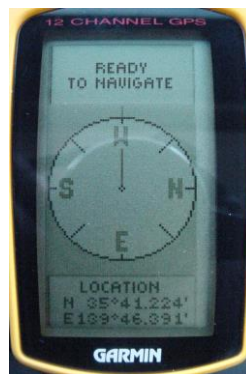


ハンディーGPS受信機の座標表示は  
00.00° 表示となっているので  
00° 00' 00.00"  
表示に変換する必要があります。

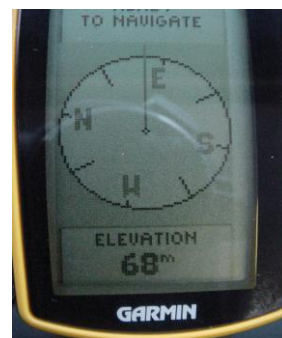
6. WGS-84の座標と標高を書き取ります。

READYが表示された(測位ができてい)時に

PAGEボタンでコンパス画面を表示させ、▲▼ボタンで「LOCATION」、「ELEVATION」を  
選択し、表示された北緯(N) 東経(E) 標高(ELEVATION)を正確に書き取ります。



「LOCATION」表示



「ELEVATION」表  
示

・窓ガラスにGPSアンテナを取り付けた GPS タイムサーバーが、なかなか 設置場所を測位で  
きないときには、ここで書き取った WGS-84 の座標と標高を GPS タイムサーバーの  
setgpsrefpos コマンドを使って設定します。

屋上など広く空を見渡せる場所にGPSアンテナを設置するのであれば、GPS タイムサーバー

7. 電源ボタンを長く押し続けて、GPS受信機の電源を切り、弊社まで返送ください。